



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

楽しもうロータリー



2010-2011年度
R.I.会長よりのメッセージ

第948回例会 2010年10月6日 No.920号

■ 会長時間



会長 小川 嘉彦

皆さんこんにちは、今月は職業奉仕月間と米山月間となっております、米山奨学生の秀さんに卓話をしていただくことになっています。昭和42年7月1日に設立された、財団法人 ロータリー米山記念奨学会の設立趣意書には次のように記されています。

「この法人は、主としてアジア諸国、又はその他のロータリー所在国の学生又は学者に対し、我が国において勉強又は研究するための奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的として設立する。この法人は、昭和24年に東京ロータリー倶楽部が設定し、昭和32年に全国のロータリークラブに参加を求めて以来、逐年発展し、今や在日全ロータリークラブの共同事業となり、国際留学生に対する奨学金の支給を通じて、所期の目的たる国際理解と親善にも多大の成果を収めつつある、ロータリー米山記念奨学会の事業と財産を継承し、法人化によってその基礎を確立し、今後一層奨学事業の発展を期するため設立されるものである。この法人は、全国ロータリークラブの寄付を主たる財源とし、ロータリー会員によって運営され、ロータリー目的達成に寄与することを目的としている。」

「ロータリーの友」のよねやまだよりも基礎知識が掲載されていますので、米山月間でもあり米山記念奨学事業について考えてみてはいかがでしょうか。

今回の例会(10月13日)

職場訪問例会

次回の例会(10月20日)

会員卓話 久保 弘睦 会員

出席報告

(佐野例会運営副委員長)

10月6日(水)出席者

会員総数	41名
出席会員	28名
欠席会員	13名
ご来賓	0名
ご来客	4名
ゲスト	1名

来客者紹介

(沖田親睦家族委員)

10月6日(水)出席者

川崎幸RC	1名
広島RC	2名
広島南RC	1名

幹事報告(石川幹事)

■ 例会変更

- ・ 広島中央RC 「職場訪問例会」
【とき】 10月18日(月) 12:30～ 【※同日変更】
【ところ】 株式会社 中国放送
- ・ 広島西南RC 「職場訪問例会」
【とき】 10月19日(火) 12:30～ 【※同日変更】
【ところ】 日本基準寝具 株式会社 廿日市工場
- ・ 広島安芸RC 「広島東RCとの合同夜間例会」
【とき】 10月19日(火) 18:00～ 【※同日変更】
【ところ】 ホテルグランヴィア広島
- ・ 広島東RC 「広島安芸RCとの合同夜間例会」
【とき】 10月19日(火) 18:00～ 【※10/20(水)の変更】
【ところ】 ホテルグランヴィア広島
- ・ 広島城南RC 「職場訪問例会」
【とき】 10月22日(金) 12:30～ 【※同日変更】
【ところ】 お好み焼き "のんき"
- ・ 広島西RC 「職場訪問例会」
【とき】 10月28日(木) 12:30～ 【※同日変更】
【ところ】 広島電鉄 株式会社 本社・千田車庫

- ・ 広島南RC 「職場訪問例会」
【とき】 10月29日(金) 12:30～ 【※同日変更】
【ところ】 株式会社 やまだ屋 おおのファクトリー
- ・ 広島城南RC 「新会員歓迎夜間例会」
【とき】 10月29日(金) 18:30～ 【※同日変更】
【ところ】 メルパルク広島

■ お知らせ

- ・ 10月10日に開催されます地区大会のプログラムを配布しておりますので、ご確認下さい。また、貸切バスを利用される方は7時30分にホテルグランヴィア広島裏口バス乗り場へご集合下さいませようお願いいたします。緊急の場合は、山本副幹事へご連絡をお願いいたします。
- ・ 次週10月13日(水)の例会は職場訪問例会へ変更をしておりますので、お間違えないようご注意ください。

■ BOX配布物

- ・ ロータリーの友、ガバナー月信、米山豆辞典

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】小川 嘉彦 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】石川 貴与和 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/> 【FAX】082-221-4870

米山奨学生卓話



米山奨学生
秀茹さん
(シュー・ルーさん)

中国は漢族と55の少数民族で構成され、統一された多民族国家と憲法で規定している。最大民族である漢族の人口は全体の約91%を占め、残り9%は少数民族の総数になる。少数民族の総人口は1億8千万余あり、またその居住地域は国土の60%を超えている。少数民族は次のような特徴を持っている。

1. 少数民族は異なった言語を持っている。中には文字がない民族もある。文字がある民族は朝鮮族、ウイグル族、満州族など。文字がない民族は南地方のチワン族などがある。
2. それぞれの民族は生活習慣が異なっている。少数民族の居住地域は非常に広く、北方の少数民族は農業と牧畜業で生活を営んでいるのに対して、南方の少数民族は漁業などを営んで生活をしている。従って、生活習慣も異なる。
3. 宗教に深く影響された少数民族もある。例えば、回族とウイグル族は豚肉を食べない、このことは彼らがイスラム教を信じているからである。
4. 経済の発展が遅れている。少数民族の居住している地域は中国の内陸が多く、気候条件も悪い。例えば、チベット族の住んでいる地域はパミール高原の東に位置する高原地帯である。気候条件が非常に悪く、交通も整備してないので経済発展が遅れている。

以上を要するに、中国の少数民族の多くは、文化的にも経済的にも難しい問題を抱えている。

1998年まで、中国には自治区が5ヶ所、自治州が30ヶ所、自治県が120ヶ所、また民族郷が1256ヶ所ある。自治区はチベット自治区、新疆ウイグル自治区、チワン族自治区、回族自治区、内モンゴル自治区になる。

中国の少数民族に対する教育政策は民族平等を基礎にした教育政策で、少数民族を対象に様々な優遇政策と特別措置を設けている。1950年代、中国政府は中国語の北京語を国の標準語と定め、少数民族地域で標準語の学習を積極的に進めることを奨励するようになった。この政策に沿って、中国政府は少数民族に対して、民族語と標準語の二言語教育、或いは二言語を用いた教育を始めた。

二言語教育について、標準語と少数民族言語の授業開始年次に注目すると、教育課程は三つのタイプに分かれる。第一は、小学校の低学年ではまず民族語の科目だけで、高学年から標準語を学び始めるタイプ(内モンゴル自治区、新疆ウイグル自治区)。第二は、民族語と標準語を同時に学び始めるタイプ(吉林省の朝鮮族)。第三は、標準語を先に学び、その後民族語を学ぶタイプ(チベット自治区の一部)である。次に、内モンゴル自治区を例として少数民族教育の基盤となる二言語教育について考えてみたい。

内モンゴル自治区のモンゴル族人口は、1990年に337万5千人で、モンゴル国の総人口の225万人より遥かに多いが、内モンゴル自治区の総人口から見ると、漢族80.6%に対し、モンゴル族は15.7%を占めるに過ぎない。1980年代の調査によれば、内モンゴル自治区の88%のモンゴル族はモンゴル語ができるのに対し、12%はモンゴル語ができず、標準語だけを使っている。

私は小、中、高校で民族学校に通い、モンゴル語によって教育を受けた。私たちはモンゴル語で授業を行う民族学校に入学し、小学校の一年生から民族語で授業を学び、小学校三年から標準語を外国語として学ぶようになった。

中学校に入っても、標準語以外の外国語の授業はなかったが、当時、大学の入学試験で外国語という科目がないから、外国語を学ばなくてもいいと思っていた。標準語のレベルも、町の学生と村の学生の差が大きかった。町の学生は日常生活で漢族と接触するチャンスが多いのに対し、村の学生はほとんど漢族と話したこともないので、まともな標準語の発音もできなかった。標準語以外の授業は全部モンゴル語で行っているから、話すことは難しくないが、文章を書く能力が低い。

標準語のレベルについては、周りの民族学校の学生がほとんど自分と同じ状態に置かれているか、自分よりも悪い状態にいたので、標準語ができなくても何とかやるよと思っていた。しかも、優遇政策があるから、漢族の学生よりもちょっと低い点数でも大学に入れると思っていた。

ところが、大学に入ってから大学の授業について行けなくなった時、初めて私たち民族学校の生徒が毎日学んでいるモンゴル語は全然役に立たないし、標準語のレベルも十分に授業内容を理解できるまで行っていないことが分かった。また、数学、物理での固有名詞などが全然自分の勉強していたものと言っていることに戸惑いを感じた。一番困ったことは、英語であった。私たちは高校まで英語の字母が何個あるのかも分からないのに、大学に入ってから、いきなり大学レベルの英語を教えられて、とても辛かった。もちろん英語を始めから教える大学もあったが、急に上達できないので、パソコンなどの授業も漢族の学生より困っていた。

実際社会に出てからは、モンゴル語を使う機会はさらに少なくなり、一日中モンゴル語を話さなくてもおかしくないが、もし、一日中標準語を話さなかったら、生活ができないぐらい標準語を使っている。そのうえ、英語の重要さもますます大きくなっている。民族学校の生徒の中国語文書を書く能力の低さと英語能力の低さは私たちにとって大きな壁になっていることは事実である。

それなら、民族学校ではなく、普通の漢族学校に入学したら、英語を学ぶチャンスもあるし、標準語のレベルも高い、ただモンゴル語ができなくなるだけだ。実際子供を漢族学校に入学させる人は増えている。内モンゴル自治区の小学校でのモンゴル語学習者は1957年全モンゴル族学生の83.6%から1993年の53.4%まで減った。すなわち、現在、モンゴル語を学ぶ学生はモンゴル族全体の半分しかないということになる。

モンゴル語学習率の下がった原因を岡本雅享氏が次のようにまとめている。(『中国の少数民族教育と言語政策』1999年p232)

1. 内モンゴルの都市部では、モンゴル語の用途は小さく、使用範囲も狭いし、特に現在の改革開放、市場経済の中でモンゴル語は使わず、漢語が主となっているので、少数民族の中には直接漢語を学習したほうが、体力も時間も省けてよいと考える者が増えていると考えられる。
2. モンゴル語を頑張っても、村から外へ出ると、言語環境は圧倒的に漢語でモンゴル語ではコミュニケーションが取れない。
3. モンゴル語で教育を受けた学生は進学先が限られ、またモンゴル語だけで高等教育を受けることなど不可能になっている。自治区の大学、中等専門学校でさえ、モンゴル語で授業を行う教科は少なく、自治区の大学や専門学校19校の内、モンゴル語で授業を行う学科があるのは10校のみであり、それもすべて文系科目で、理工系はない。
4. モンゴル語で教育を受けた者は就職先を探すのが難しい。就職試験では彼らのことは全く考慮されておらず、食べていくためには漢語、漢文を学ばなければならない。

米 山 奨 学 生 卓 話

5. 自治区に民族語文字の使用を保障する法律がなく、それらの学習、使用を奨励する実効性のある政策措置もない。少数民族の子供は、民族語のほかに漢語や外国語を学ぶため学習の負担は大きく、その他の教科の成績に影響するのに、三言語を学習するものへ奨励もない。

こうした様々な原因によって、もともとモンゴル語ができるモンゴル族でも、都市で生活するようになるとモンゴル語を放棄せざるを得なくなっていく、このままなら内モンゴルではモンゴル語を話せる人がますます少なくなり、何十年後にはみんな中国語でしか交流できなくなるかも知れない。もちろん時代の流れでは、やむを得ない部分もあるかと思うけど、やはりこの民族にとって悲しいことである。

このように中国の少数民族の教育、特に、言語方面の教育は多くの問題点がある。

そして少数民族の人々自身はこの問題をどのように捉えているのだろうか。ここで、少数民族の人々全体としての傾向を探るために、アンケート調査を行ってみた。内モンゴル自治区のモンゴル族の幹部、学生、教師、普通の労働者を調査対象として、全部で120部を配布し、そのうち86部を回収することができた。

次に、アンケート調査の結果と分析のいくつかについて考える。

「モンゴル語を勉強したことは仕事にどう影響があるか」という質問に対して、長所と短所を設けたが、長所の中に、「モンゴル語と標準語が両方でできて、少数民族地区での仕事の展開に役に立つ。」という意見がある。話せるだけで、読んだり書いたりする能力が伴わないのであれば、それはその言語が「できる」とは言えるのだろうか。

また、短所の中の「モンゴル族学生の進学先の選択肢が少ないため仕事の選択肢も少なくなる。」と「標準語の文書能力と表現能力が低いため仕事に十分力を発揮できない。」と書いた人の中には、公務員や教師など、実際に社会で仕事をしている人が多かった。このことは、民族学校出身者が仕事をする場において確かに標準語のレベルの低さで困っていることをよく示していると思う。

次は、「センター試験の少数民族に対する優遇政策に関してどう思うか」という質問に対しては、優遇することはいいことだと答えた人が多いが、この中で、「いいと思う。でも、少数民族であることをしっかり確認した上で優遇してほしい。10点の進学面での優遇政策のために民族を少数民族にする漢族がいる。」という答えがあった。実は、少数民族に対する計画出産の緩和、進学、幹部採用の時の優遇政策を当てに、漢族の中に不正な手段を使って民族出自を変更する者が増え、少数民族の不満を招き社会問題になっている。また、アンケートを標準語形式で行ったためか、答えの中に、誤字が多かったこと、問題の意味さへ理解できなかった人がいたということが気になる。特に学生の答えの中に、誤字や意味不明(ちゃんと漢字が書けない)の答えが多かった。アンケートに答えた学生の中で一番若いものは16歳、次は17歳。16歳は高校一年生になる。こういうレベルで大学に入ったら、たぶん自分自身が困ると思う。また、自分の標準語レベルが低いということに全然気付いていない人もたくさんいた。

以上はアンケート調査の結果と分析の一部になる。

中国は多民族国家であり、古くから民族間には様々な問題がある。もちろん、教育面でもいろんな問題を抱えている。特に、言語教育からは文化衝突の実態を把握できるし、アンフェアだと感じることもある。しかし、多民族国家である以上民族問題は必ず伴ってくる。国際化が進んでいる現在では、世界の人々の関心を集めることができれば、アンフェアとすることも少なくなるのではないかと思う。

参考文献:

『中国教育年鑑1949～1981』中国大百科全書出版社
1984年

陳中原著『中国教育平等初探』広東教育出版社

岡本雅享著『中国の少数民族教育と言語政策』社会評論社
1999年

連 続 出 席 表 彰

井林孝二会員が20年間連続100%出席をされました。

おめでとうございます。

遠 来 の お 客 様



川崎幸RCの毛利尚方様がお越しになりました。当クラブバナーをお渡しいたしました。

SMILE BOX

.....SMILE BOX

川崎幸RC 毛利尚方 様

初めてお伺いいたしました。所用で来ました。

福田義彦 会員

先日は古希を祝う会を開いていただき、ありがとうございます。皆様のご好意に感謝します。今後ともよろしく願いたします。

石川貴与和 会員

9月末に長女に男の子が生まれました。2人目の孫の誕生です。

石川貴与和 会員

9月30日の夕刊「でるた」に「ふるさと」の事で載せてもらいました。鈴木、下田、山田さんに次を頼みました。

当日計	43,000円	累計	226,000
-----	---------	----	---------